



I 第1週の発生動向 (2024/12/30~2025/1/5)

- インフルエンザについては、五所川原保健所管内及びむつ保健所管内の定点当たり報告数が注意報レベルから**警戒レベル**となり、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内及び上十三保健所管内では**警戒**が継続しています。また、弘前保健所管内では**注意報**が継続しています。
- 手足口病については、上十三保健所管内の**警戒**が**解除**となりました。
- 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内及びむつ保健所管内の**警戒**が**解除**となりました。

ただし、第1週の各種数値については、年末年始の医療機関の休診等の影響により、実際よりも低くなっている可能性がありますので、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、警戒が解除となった疾患も含めて、引き続き基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第1週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警戒・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警戒、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	347	43.38	151	15.10	444	40.36	182	45.50	346	38.44	251	50.20	1721	36.62	-257
	新型コロナウイルス感染症	72	9.00	54	5.40	101	9.18	71	17.75	82	9.11	63	12.60	443	9.43	-55
小児科	RSウイルス感染症	4	0.80	1	0.14	1	0.14					1	0.33	7	0.22	-8
	咽頭結膜熱	1	0.20	1	0.14			9	2.25					11	0.34	-13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.20	3	0.43	4	0.57	2	0.50	1	0.17	1	0.33	12	0.38	-38
	感染性胃腸炎	3	0.60	3	0.43	6	0.86	4	1.00	3	0.50			19	0.59	-150
	水痘			1	0.14									1	0.03	-6
	手足口病									1	0.17			1	0.03	-41
	伝染性紅斑	2	0.40			3	0.43	2	0.50	5	0.83			12	0.38	-94
	突発性発しん									1	0.17			1	0.03	-18
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00	2	2.00			2	2.00	5	0.83	-22
	無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

麻しんが疑われる場合の対応

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスに感染して起こる急性の全身感染症で、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状があらわれます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹があらわれ、肺炎や中耳炎を合併することがあります。

麻しんウイルスは、感染力が非常に強く、簡単に人から人に感染しますので、麻しんの疑いがあると気づいた方で、医療機関を受診する際は、周囲への感染を防ぐため、以下の点に注意する必要があります。

- 発熱、発疹などの麻しんを疑うような症状があり、医療機関を受診する際には、**受診前**に麻しんの疑いがあることをかかりつけ医又は医療機関に**電話**等で伝え、受診の可否や注意点(受診時刻、受診経路、到着時の連絡方法等)を確認してから、その指示に従ってください。医療機関の受診時には、ワクチン接種歴の確認が行われますので、受診前に母子健康手帳等で確認しておきましょう。
- 周囲への感染を防ぐため、医療機関への移動には、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を可能な限り避けてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞麻しんについて(厚生労働省HP)



厚生労働省

「麻しん(はしか)」
の感染事例が報告されています!

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

感染経路 麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状 高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など
肺炎や中耳炎になることがあります。まれに、重い脳炎を発症することもあります。先週間であっても、1,000人に1人が死にするとされています。

症状がある場合 医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防 ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われますので、お住まいの市町村にご相談ください。

出典：厚生労働省HP

Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核(二類感染症)：弘前1人

(2025年計：1人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2024年第48週～)

・第1週の患者報告数は1721人であり、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1662人【A型：1659人、B型：3人】でした。

保健所管内別報告数(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	35	107	343	636	347		
弘前	27	25	90	138	171	151		
三戸地方+八戸市	40	82	104	179	505	444		
五所川原	6	2	10	33	118	182		
上十三	17	68	114	183	463	346		
むつ	13	20	17	37	85	251		
合計	115	232	442	913	1978	1721		

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	34	105	329	606	345		
弘前	27	25	90	138	171	151		
三戸地方+八戸市	39	80	103	178	494	421		
五所川原	6	2	10	32	114	181		
上十三	17	65	101	166	429	339		
むつ	12	14	15	29	76	222		
合計	113	220	424	872	1890	1659		

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市		1		2		1		
弘前								
三戸地方+八戸市				1				
五所川原				1	4	1		
上十三				1		1		
むつ								
合計		1		5	4	3		

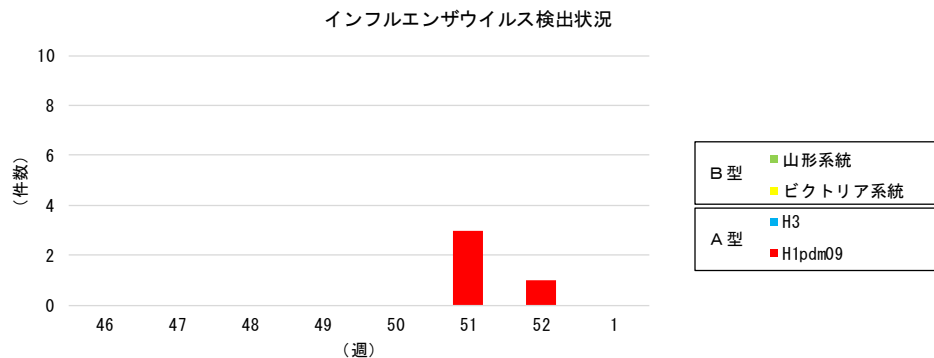
年齢区分別(人)

年齢区分	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
～5ヶ月		1	3	2	8	9		
～11ヶ月		1	3	13	15	25		
1歳	5	3	4	24	66	63		
2歳	2	2	8	24	80	45		
3歳	5	2	12	17	78	36		
4歳	6	7	14	27	89	37		
5歳	7	11	20	36	76	39		
6歳	12	9	23	67	87	42		
7歳	7	13	29	46	102	36		
8歳	7	20	25	53	106	24		
9歳	6	12	30	55	76	26		
10～14歳	15	61	119	203	249	95		
15～19歳	8	34	22	70	143	63		
20～29歳	6	6	10	19	90	228		
30～39歳	3	16	29	46	124	173		
40～49歳	11	12	21	57	200	197		
50～59歳	2	7	25	61	159	220		
60～69歳	4	9	12	31	89	140		
70～79歳	2	3	14	28	74	104		
80歳以上	7	3	19	34	67	119		
合計	115	232	442	913	1978	1721		

VI 県内インフルエンザウイルス検出情報（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2024年							2025年	直近5週間 合計	2024/2025 シーズン 合計
		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週		
提出検体数		0	0	0	0	0	3	3	0	6	6
A型	H1pdm09						3	1		4	4
	H3									0	0
B型	ビクトリア系統									0	0
	山形系統									0	0
合計		0	0	0	0	0	3	1	0	4	4

注) 2024/2025シーズンは2024年第36週（9/2～9/8）～2025年第35週（8/25～8/31）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2024年第50週～2025年第1週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	侵袭性肺炎球菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人		百日咳1人	
51	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人 百日咳1人	レジオネラ症1人			侵袭性肺炎球菌感染症1人 百日咳2人	
52	百日咳1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 百日咳1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人	百日咳1人			百日咳2人
1						

第52週に弘前保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人の届出がありましたので追記しました。

VIII 結核(二類感染症)（2024年第50週～2025年第1週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	1	1	1			
51		1	2	1		
52	1	1				
1		1				

第52週に東地方保健所管内で1人の届出がありましたので追記しました。

Ⅹ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第52週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス
累積報告数	15843	2	74	3742	42	7	526	137	17	19

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	4	11	6	4	4	120	2	10	349	232

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	505	9	5	7	45	25	2	2419	53	514

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	226	2277	47	609	27	169	1888	991	42	644

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	66	2530	483	14663	189	85	121	4054	7	45

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	6

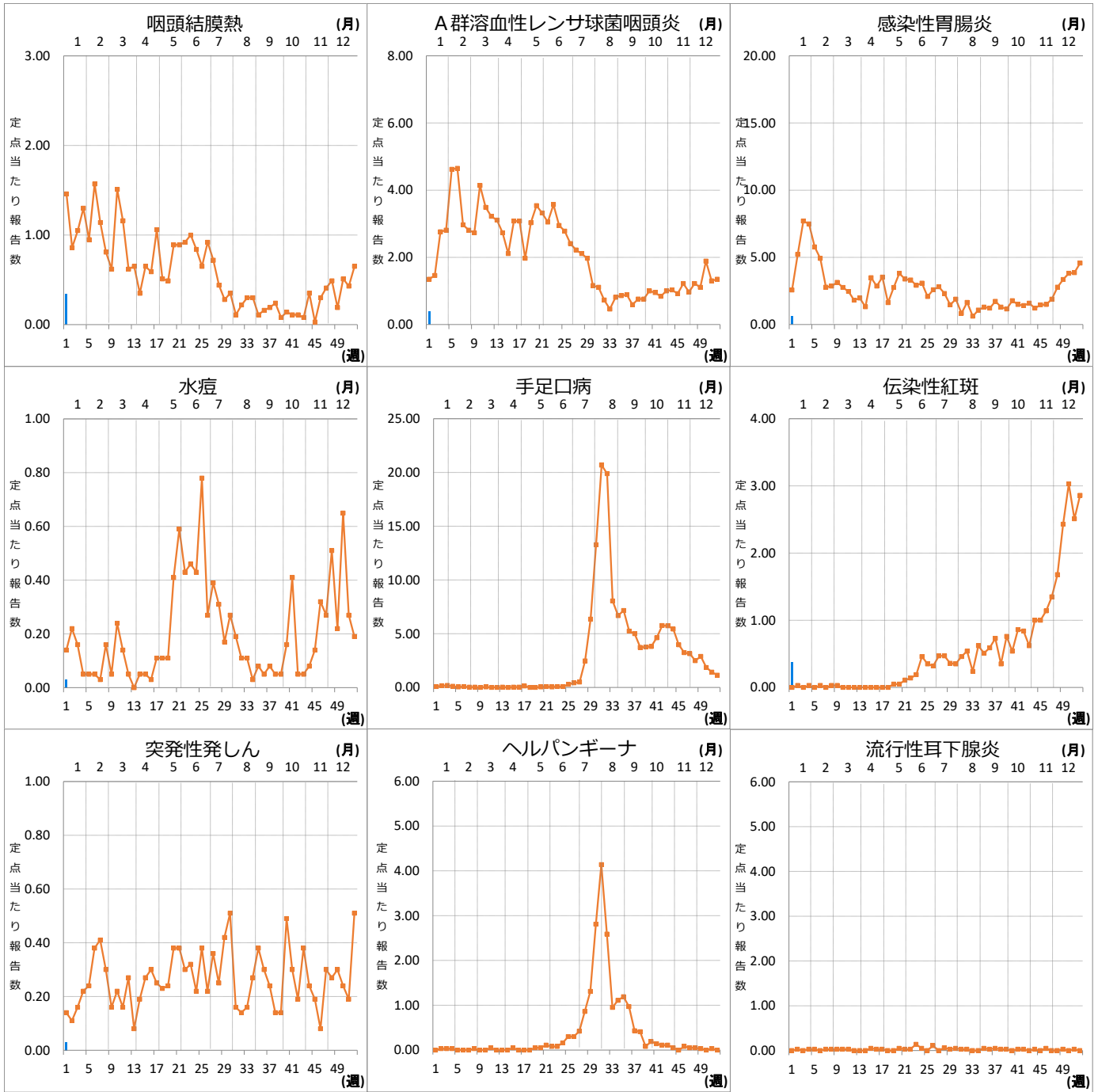
青森県（2025年第1週の累計）

分類	二類
疾病名	結核
累積報告数	1

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2025年第1週）

グラフの説明 — は 2025年青森県、 ■ — ■ は 2024年青森県





XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2025年第1週)

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県

